

平成30年度 社会福祉法人御蔵島社会福祉協議会 事業計画

御蔵島社会福祉協議会経営理念

私たち御蔵島社会福祉協議会は、厳しい自然環境にある島の歴史・風土の下で生活している村民が支え合い、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。その推進に当たっては、枠組みにとらわれず柔軟に対応し、地域に根ざした事業所の実現を目指します。

御蔵島社会福祉協議会経営方針

1 経営の安定

村民に安定したサービス提供を図るため、組織の基盤づくりに全力を注ぎます。

2 地域との連携

村民のニーズを把握するため職員が自ら足を運び話しやすい関係を築きます。

3 人材育成

村民のニーズに柔軟に対応するため、限られた社会資源を活用できるよう職員のスキルアップに努めます。

1 法人運営事業

ア 会員募集

事業所会員の募集に力を入れる。

イ 送迎サービス事業

この事業の宣伝活動を強化し、より幅広い年齢層の利用者拡大を目指す。

ウ おむつ費用助成事業

必要な方の情報収集し、利用を促す。

エ ボランティア団体助成事業

今年度も継続しながら、ボランティア活動をより活発なものにするため、できる限りの支援を行っていく。

オ 福祉用具貸出事業

宣伝強化を図り、利用者拡大に努めるとともに、用具の見直しを図りたい。

カ 宣伝普及事業

月1回の「みくらじま協だより」の定期発行を維持。ホームページによる情報公開も図る。事業の宣伝のために、パンフレットの制作を手掛ける。

キ 相談業務

積極的に足を運び情報収集、村民のニーズを把握できるように努める。

ク 御蔵島村敬老祝賀会受託事業

村の意向に沿った実施を目指す。9月30日（日）を希望。

ケ 福祉サービス利用援助事業

東社協より受託している「権利擁護事業」「生活福祉資金貸付事業」について村民に周知し、利用が可能かどうか検討をしていく。

コ 共同募金運動受託事業

例年通り、赤い羽根の共同募金、歳末たすけあい運動を実施する。

サ 社協まつりの実施

昨年実施したように、地域福祉の啓発を目的とする社協発信のおまつりの検討、企画、実施をする。

シ 人材育成

職員の入れ替わりもあり、各関係機関で実施する研修に積極的に参加する。また、施設内研修会を積極的に実施する。

ス 島しょ社協連絡協議会への参加

役員が島しょ地区独特の地域福祉を理解ために参加をする。新島開催予定。

セ 敬老お祝い弁当

例年どおり、65歳以上に配布する。配布時期については敬老会前日が忙しいため、9月中で検討する。(9月15日予定)

2 御蔵島村福祉保健センター仲里

ア 高齢者生きがいデイサービス事業

利用者の拡大、サービス向上を図る。また保育園や小中学校、一般村民との世代間交流を行うため、本事業所で催す行事などにも積極的に受入れを行う。

イ 通所入浴事業

より効率的なサービス提供を検討する。

ウ 訪問介護事業、介護予防訪問介護事業、

利用予備軍の把握。利用者が出た場合の体制を整えておく。

エ 配食サービス事業

農漁協と連携して、可能な限り地産地消の配食をめざす。

オ 福祉保健センター管理運営事業

各サークル、団体等の援助を積極的に行う。主に未就園児に力を入れる。

放課後健全育成事業(かつどりクラブ)を引き続き実施し、保護者の実情を踏まえ、事業の見直しを図る。

カ 職場体験、施設見学等の受入

御蔵島中学校で実施している職場体験の協力を積極的に行う。また、施設見学や勉強会などについても積極的に受入れを行う。

キ 介護予防体操教室

例年どおり、年3回講師を招き実施する。高齢者予備軍の参加も検討する。

ク 福祉啓発事業

昨年は聴覚障害への理解と福祉の啓発のための映画上映会を実施した。今年度も社協まつりに絡め、福祉啓発に努める。

ケ (仮称) 村内清掃事業

ボランティア活動啓発の一環として、年4回、集落内の清掃活動を行う。